

担い手育成特定資産事業 活用事例紹介 畠山 俊介さん（田野畑村）

取材担当 宮古農業改良普及センター岩泉普及サブセンター 昆野 有芽

田野畑村で畜産業を営む畠山俊介さんを紹介します。

父親が家畜人工授精師として開業していたことから、跡を継ぐために岩手県立農業大学校へ進学。牛の交配などについて学ぶうちに畜産経営への関心が深まり、令和4年に新規就農しました。

現在は、家畜人工授精師としても活動しながら、繁殖雌牛約20頭を飼育しています。肥育農家さんに「いい牛だね」と言ってもらえるような牛づくりをしたいと話しており、放牧によって運動させることで足腰を鍛え、分娩事故を防止するなど牛の健康管理にこだわりを持って飼育しています。

しかし近年は夏季の高温による受胎率の低下に悩まされていたことから、令和7年に岩手県農業公社の新規就農スタートアップ支援事業を活用し、牛舎に送風機を設置しました。

送風機の設置により暑熱対策が進み、繁殖成績は改善傾向にあります。畠山さんも「導入して正解でした！」と笑顔で語ってくれました。

今後も徐々に飼養頭数を増やしていきたいとのこと。一つ一つ課題を解決していくことで畠山さんの更なる経営発展が期待されます。



飼養管理中の畠山さん



送風機が設置された牛舎